



上田保健所管内で有毒植物「スイセン」による 食中毒が発生しました

本日、上田保健所管内で、有毒植物「スイセン」を食べたことによる食中毒が発生しました。

患者は、「スイセン」を食べた1名で、上田保健所が行った調査により、患者は「スイセン」を食用の「ニラ」と間違えて調理し、喫食していました。

なお、患者は快方に向かっています。

【事件の探知】

令和6年4月23日午前9時40分頃、上田市内の医療機関から「ニラと間違えて採取したスイセンを食べて胃腸炎症状を呈した患者1名を治療中である。」旨の通報が上田保健所がありました。

【上田保健所による調査結果概要】

- 患者は4月21日に自宅敷地内にある畑に混在して生えていたニラとスイセンを採取し、4月22日午後6時頃にニラ玉にして食べたところ、午後6時30分頃から吐気、嘔吐等の症状を呈しました。
- 上田保健所で患者が採取した植物を確認したところ、ニラと有毒植物の「スイセン」が混在していました。
- 患者の症状は、有毒植物の「スイセン」による症状と一致していました。
- 患者を診察した医師から、食中毒の届出がありました。
- これらのことから、上田保健所は「スイセン」を原因とする食中毒と断定しました。

担当保健所	上田保健所	
患者関係	発症日時	4月22日 午後6時30分頃から
	患者症状	吐気、嘔吐、頭痛、膨満感、発熱など
	患者所在地	上田市
	患者数 及び喫食者数	患者数/喫食者数：1名/1名 (患者内訳) 女性：1名(年齢：70歳代)
	入院患者数	1名
	医療機関受診者数	1名(受診医療機関数：1か所)
原因食品	ニラ玉	
病因物質	植物性自然毒(スイセン)	

[参考] 長野県内(長野市・松本市含む)における食中毒発生状況(本件含む)

令和6年度 (うち長野市・松本市)	4件 (1件)	24名 (1名)
令和5年度 (うち長野市・松本市)	10件 (3件)	205名 (30名)

==スイセンによる食中毒==

[特 徴]

- ユリ目ヒガンバナ科スイセン属に分類される植物です。
- 観賞用に全国で栽培されるほか、野生化して広く分布しており、庭先等でもよく見られます。
- 葉が「ニラ」、「ノビル」に似ているため、花が咲いていないと間違えることがあります。
- 鱗茎は「タマネギ」に似ています。
- スイセンには有毒成分であるヒガンバナアルカロイドが含まれています。

[症 状]

- 食後 30 分以内の短い時間で悪心、嘔吐、下痢等を起こします。

[スイセンとニラの見分け方について]

- 「スイセン」の葉には臭いがありませんが、「ニラ」の葉にはニラ特有の臭いがあります。



[有毒植物による食中毒防止のポイント]

- よくわからない植物は、絶対に「採らない、食べない、売らない、人にあげない」
- 食べられる山菜の「特徴を完全に覚える」
- 身近な植物をむやみに食べない

もし、中毒だと思ったら、すぐに医師の診察を受けましょう。食べたものが残っている場合は、受診の際、持参してください。

なお、長野県では薬草（山野草）に関する知識の豊富な方を「薬草指導員」として登録しています。山菜や野草の種類、鑑別方法について詳しく知りたい場合は、指導員に相談してください。「薬草指導員」については、最寄りの保健福祉事務所（保健所）へお尋ねください。

[参考]

- 厚生労働省のホームページ ～自然毒のリスクプロファイル～
<http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/poison/>
- 長野県のホームページ ～有毒植物の誤食に注意しましょう～
<http://www.pref.nagano.lg.jp/shokusei/kenko/shokuhin/shokuchudoku/yudoku.html>

(問合せ先)

上田保健所食品・生活衛生課食品・動物衛生係
(担当) 中曽根、藤井、根本
電話: 0268-25-7152(直通)
0268-23-1260(代表) (内線 2314)
FAX: 0268-25-7179
E-mail uedaho-shokusei@pref.nagano.lg.jp

(問合せ先)

健康福祉部食品・生活衛生課食品衛生係
(担当) 福井、松本、塚田(滉)
電話: 026-235-7155(直通)
026-232-0111(代表) (内線 2661)
FAX: 026-232-7288
E-mail shokusei@pref.nagano.lg.jp